

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●松岡正海騎手がJRA通算700勝を達成

1月10日(日)の1回中山3日・第3レースではイルフォーコンが1着となり、同馬に騎乗した松岡正海騎手(美浦・フリー)は、史上55人目、現役では23人目となるJRA通算700勝(8838戦目)を達成しました。

●S.フォーリー騎手とL.コントラス騎手がJRA初勝利

1月9日(土)の1回京都2日・第8レースではヴァフラムが1着となり、同馬に騎乗したシェーン・フォーリー騎手(アイルランド)はJRA初勝利(6戦目)をあげました。また1月11日(祝・月)の1回中山4日・第5レースではメンデンホールが1着となり、同馬に騎乗したルイス・コントラス騎手(カナダ)はJRA初勝利(17戦目)をあげました。

●重賞ウイナー8頭の競走馬登録抹消

2013年ニュージラントT(GII)などの勝ち馬エーシントップ(牡6歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算23戦6勝・地方1戦0勝)、2014年サマーチャンピオン(佐賀・JpnIII)勝ち馬エーシンビートルン(牡10歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算37戦7勝・地方4戦1勝)、2012・2014年名古屋グランプリ(名古屋・JpnII)などの勝ち馬エーシンモアオーバー(牡10歳/栗東・沖芳夫厩舎/JRA通算33戦8勝・地方21戦4勝)、2012年金鯨賞(GII)などの勝ち馬オーシャンブルー(牡8歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算30戦7勝)、2010年札幌2歳S(GIII)勝ち馬オールアズワン(牡8歳/栗東・加用正厩舎/JRA通算40戦4勝)、2012年KBS京都賞ファンタジーS(GIII)勝ち馬サウンドリアーナ(牝6歳/栗東・佐藤正雄厩舎/JRA通算19戦3勝・地方1戦0勝)、2014年アンタレスS(GIII)勝ち馬ナムラビクター(牡7歳/栗東・福島信晴厩舎/JRA通算24戦7勝・地方1戦0勝)、2014年函館記念(GIII)勝ち馬ラブイズブーシェ(牡7歳/栗東・村山明厩舎/JRA通算32戦6勝)は、1月13日(水)までに競走馬登録を抹消されました。エーシントップとエーシンモアオーバーは北海道浦河町の栄進牧場、オーシャンブルーは北海道新ひだか町のレックススタッド、ラブイズブーシェは熊本県熊本市の本田牧場で種牡馬となり、エーシンビートルンは地方・園田競馬、ナムラビクターは地方・門別競馬に移籍。オールアズワンは滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となり、サウンドリアーナは繁殖馬となる予定です。繋養先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ホワイトフーガがTCK女王盃(大井)で人気に応じて重賞3勝目

TCK女王盃(JpnIII、1月13日、大井、1800m)は、3番手から直線入口で抜け出したホワイトフーガ(大野拓弥騎手、牝4歳、父クロフネ)が完勝、単勝1.2倍の圧倒的支持に応えました。パワースポットが1馬身1/2差の2着に入り、3番人気のタマノブリュネットが3着、セキショウは4着、2番人気に推されたディアマイダーリンは5着でした。

●年度代表馬は大井のハッピープリント、NARグランプリ2015

NARグランプリ2015の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬も同時受賞のハッピープリント(大井)、2歳最優秀牡馬はタイニードンサー(北海道)、3歳最優秀牡馬はラッキープリンス(浦和)、ダートグレード競走特別賞には3年連続でホッコータルマエ(JRA)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は角田輝也調教師(愛知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞と最優秀賞金取得騎手賞は森泰斗騎手(船橋)がそれぞれ受賞しています。

●金杯(水沢)でサンエイホープが初重賞【各地の主要3歳重賞】

金杯(1月2日、水沢、1600m)は、5番手追走から4コーナーで先頭に立った2番人気のサンエイホープ(牡、父アドマイヤオーラ)がそのまま押し切り、寒菊賞からの重賞連勝を狙った1番人気のイチダイは差のある3着に敗れています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●2015米国サラブレッド競馬の馬券売上金は1兆2811億円

昨年の米国サラブレッド競馬の馬券売上金は、前年比1.18%増の106億7622万3640円(1ドル120円換算で約1兆2811億円)で3年振りに前年を上回りました。開催日数は前年比219日減の4754日。競走回数も同2334レース減の3万8942レースで、1レース当たりの売上は7.24%増の27万4157円。1レース平均の出走頭数は前年比1.81%増の7.85頭、1レース平均の賞金は4.27%増の2万8084円。賞金総額は1.62%減の10億9366万7566円でした。

●2014年の米年度代表馬カリフォルニアクローム、復帰戦を飾る

2年前の米三冠の2つ、ケンタッキー・ダービーとプリークネスSを制したカリフォルニアクローム(牡5歳、父ラッキーブルビット)が、昨年3月のドバイ・ワールドC2着以来の復帰戦を制しました。レースは1月9日の米G2サンパスカルS(サンタアニタ競馬場、ダート8.5f)。2番手から4コーナー手前で先頭に立ち、後続を1馬身1/4抑えて通算19戦10勝です。